

高速小札用プリンター

P-EJRⅢ 80

取扱説明書



PEC フェニックス電子株式会社
PHOENIX ELECTRONICS CO.,LTD.

目次

はじめに	1
特長	2
安全にご使用いただくために	3
各部の名称と説明	
プリンター全体図	7
操作パネル部	8
通信パネル部	9
リボンの取付け	10
用紙の取付け	12
エラー表示	15
印字ヘッドの掃除について	16
故障について	17
基本仕様	18

はじめに

このたびはP-EJRⅢ80をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は、熱転写方式のサーマルプリンターで、パソコン等の外部入力装置と接続することにより
値札にバーコード、文字等を直接印字することができます。

お願い

この取扱説明書には機械各部の操作方法をはじめ、使用上の注意事項や簡単なトラブル処理方法
などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的に活用していただくため
ご使用前に取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用中、不明点があればいつでも閲読できるよう、この取扱説明書は大切に保管してください。

特長

□ バーコードプリンター

P-EJRⅢ80は印字密度約300dpi・印字速度最大100mm/秒の印字スピードですので、発行処理時間を大幅に短縮することができます。

値札の大きさは最小長さ10mm、幅25mm（小札）の印字が可能です。

□ 熱転写印字方式

サーマルリボン熱転写印字方式を採用しており、安定した印字品質を保つことができます。

インキを使用しないので手を汚すことなく印字後直ぐに取付け作業ができます。

□ 自己停止機能

ヘッド切れ、札切れ、リボン切れ等の自己停止機能をもっています。

□ パソコンとの接続でオンライン発行が可能

パソコン等の外部入力装置とインターフェースにより、オンラインによるバーコード札発行プリンターとしてシステム構築ができます。

安全にご使用いただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい注意事項を示しています。

◆表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される原因を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人がけがをしたり周囲に物的な損害をあたえたりする可能性が想定される原因を示しています。

◆記号の例



△で示した記号は、警告や注意を促す内容を示しています。記号の中や近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘で示した記号は、してはいけない禁止事項を示しています。記号の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



●で示した記号は、必ず指示に従っていただきたい強制事項を示しています。記号の中や近くに具体的な指示内容を示しています。

警告



禁止

表示されている電源電圧以外では使用しないでください。

火災・感電の恐れがあります。



指示

電源コードは本機の付属品を使用してください。

付属品以外の電源コードを使用すると、発火や火災の恐れがあります。



アース

アース接続は必ず行ってください。

漏電すると火災・感電の原因となります。またガス管、電話専用アース、水道管には絶対取付けないでください。



禁止

延長コードを使用したり多配線で使用しないでください。

電源の容量を超えると火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードの上に重い物を乗せたり、無理に曲げたり、傷つけたり、加工したりしないでください。

そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



指示

電源プラグをコンセントから抜くときは必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると芯線が露出したり断線し、火災・感電の原因となります。



抜く

万一、煙が出たり焦げた臭いがしたときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて連絡先へ連絡してください。

そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



禁止

本機の開口部から内部に金属の異物を差し込まないでください。

配線がショートし故障・感電・火災の原因となります。



抜く

異物(金属類・液体)が本機の内部に入った場合は、本機の電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた後、連絡先へご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

警告



分解

本機のカバーを取り外したり分解しないでください。
火災・感電の原因になります。点検や修理は連絡先へご連絡ください。



本機を水のかかる場所で使用しないでください。
また、濡れたラベルやサーマルリボンを使用しないでください。
故障・火災・感電の原因となります。



禁止

本機に強い衝撃を与えたり激しい振動を与えないでください。
本機が落下してけがの原因となります。また本機が破損し火災・感電の恐れがあります。

注意



指示

本機に電源コードを接続する場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前
に行ってください。

ショートや故障の原因となることがあります。



指示

本機の電源ON/OFFは必ず本機の電源スイッチで行ってください。
本機の電源スイッチがONの状態、タップによる電源ON/OFFは故障の原因と
なります。



指示

本機に接続する通信ケーブルは電源がOFFの状態に接続してください。
電源がONの状態に接続するとショートや感電の原因となることがあります。



抜く

オプションユニットの取付けや取外しは、本機および本機に接続されてい
る装置の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
故障・感電の原因となります。



禁止

湿気やほこり、通気性の悪い場所には設置しないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

お願い



指示

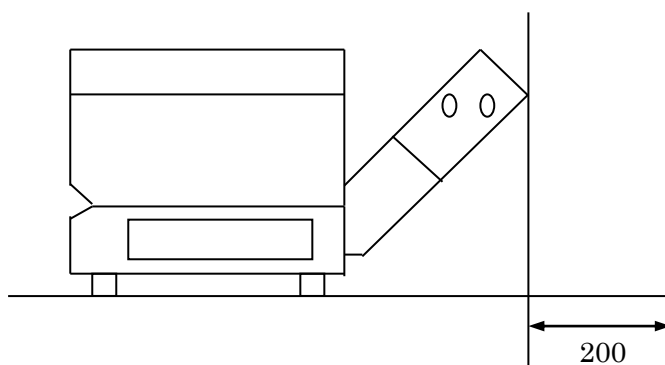
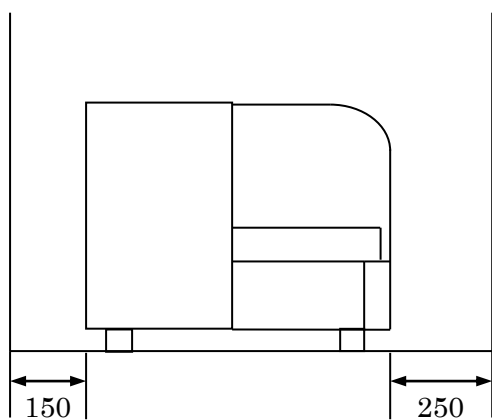
キーは軽く押すだけで操作できますので強く押さないでください。



指示

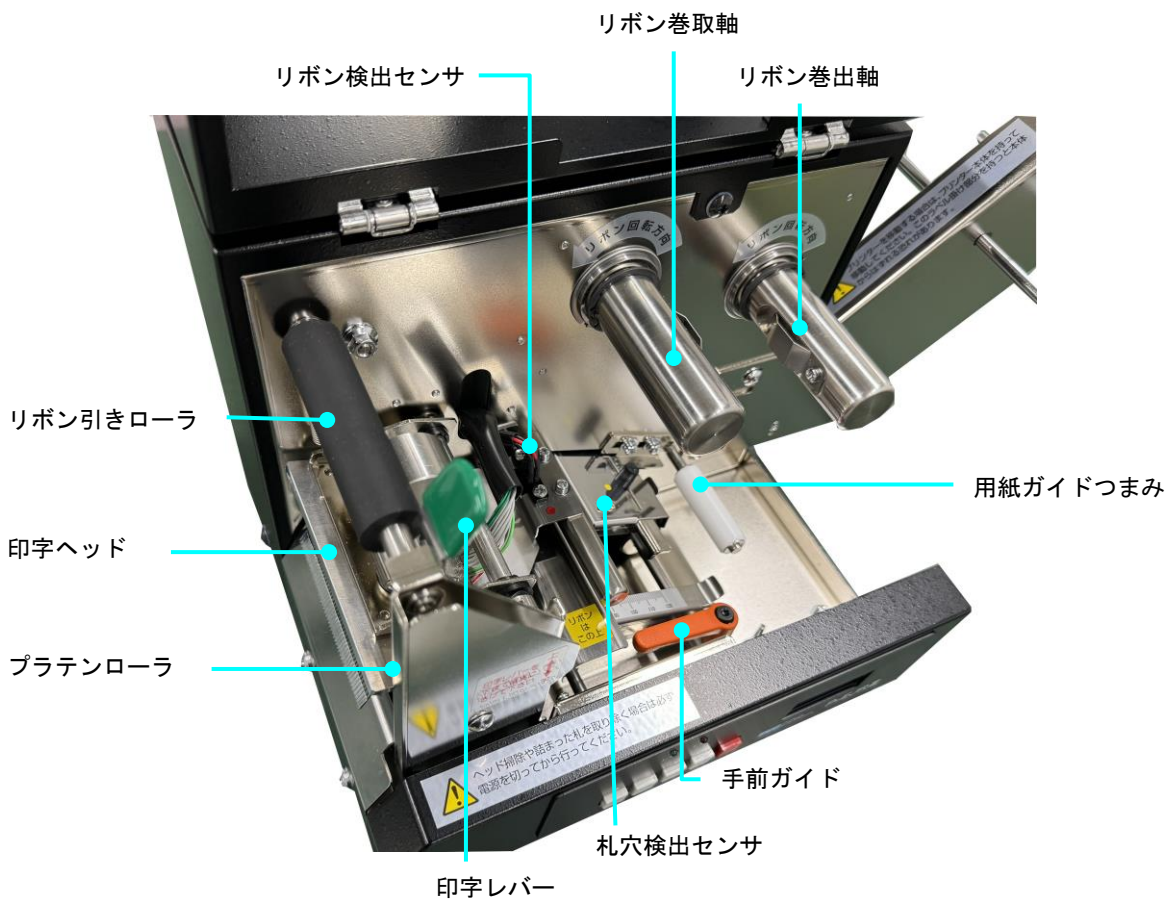
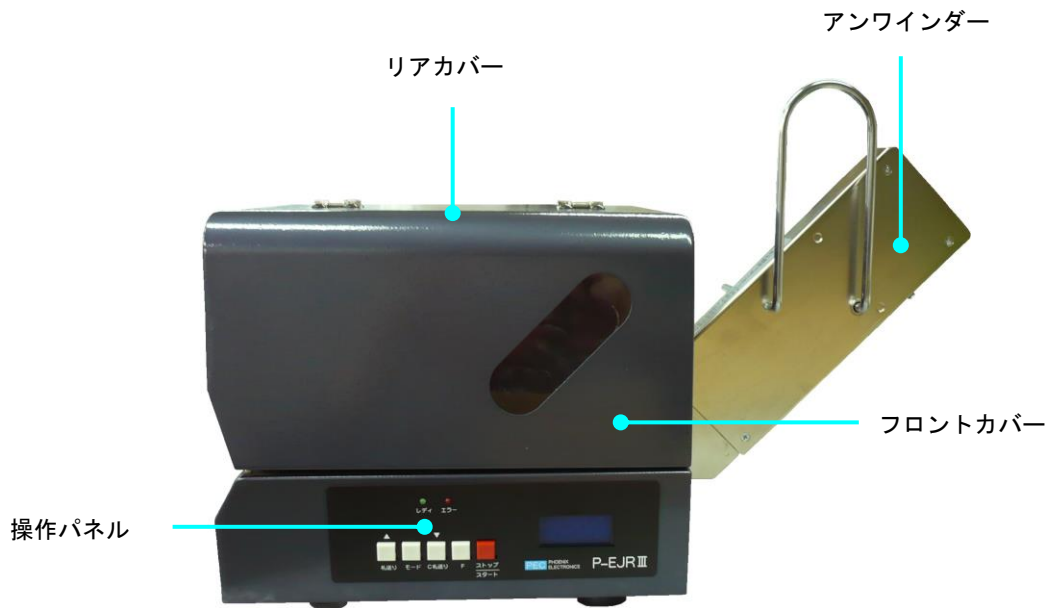
消耗品の交換や点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

(単位 mm)



各部の名称と説明

プリンター全体図



操作パネル部

ガイドランプ

●レディ

本機の電源ONで点灯、電源OFFで消灯します。

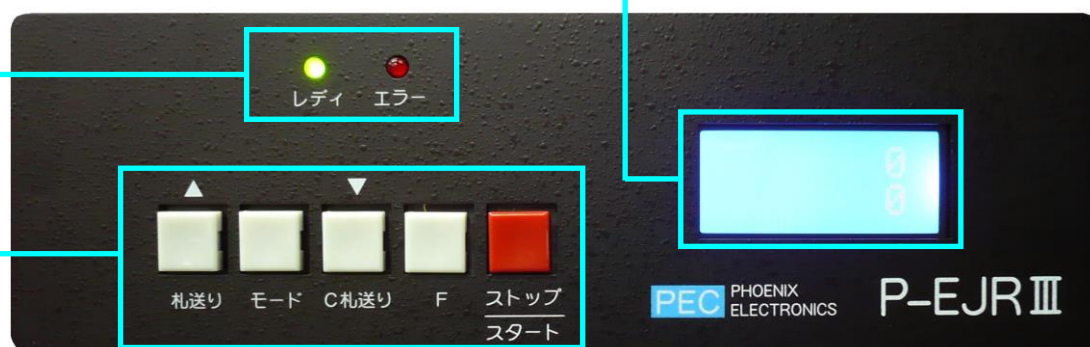
印字データが受信可能なとき点灯します。

●エラー

プリンターに異常があるときに点滅します。

表示パネル

本機の状態や指示を表示します。



キースイッチ

札送り

キーが押されている間、用紙を搬送します。

モード

通常は使用しません。

C 札送り

用紙長さ記憶解除後、用紙を搬送します。

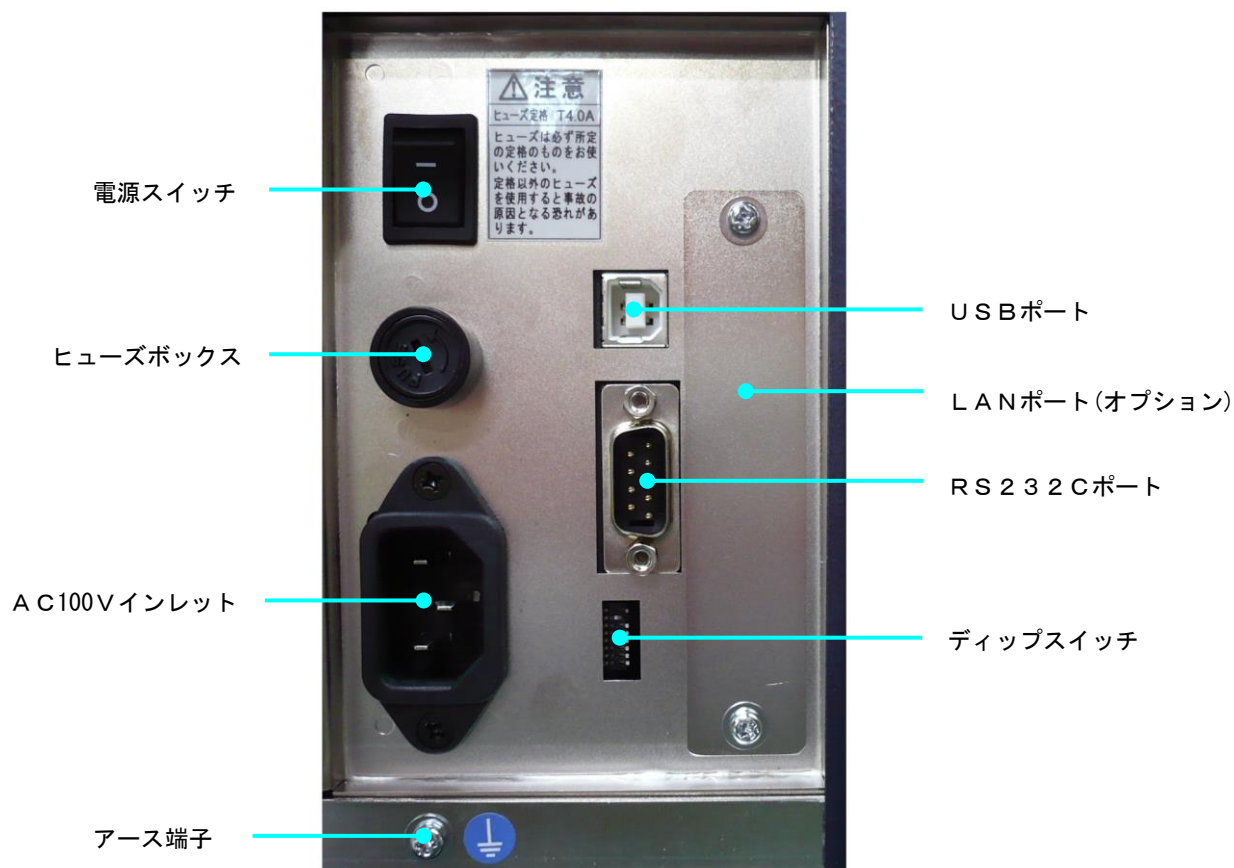
F

寸送り機能時に使用します（F+スタート/ストップキー：寸送り機能）

スタート ストップ

印字を開始する、またはエラー解除を行います。

通信パネル部



- ・電源スイッチ : 左側押下(0)が OFF、右側押下(1)が ON になります。
- ・ヒューズボックス : ヒューズが入っています。(125V・4A, ミネソタ製 φ5×20)
- ・AC100Vインレット : 付属の電源コードを差し込みます。
- ・ディップスイッチ : RS232Cの通信設定を行います。
- ・RS232Cポート : RS232Cケーブル(9ピン)を差し込みます。
- ・USBポート : USBケーブルを差し込みます。
- ・LANポート : オプションボードが必要です。
- ・アース端子 : 付属のアース線を接続します。

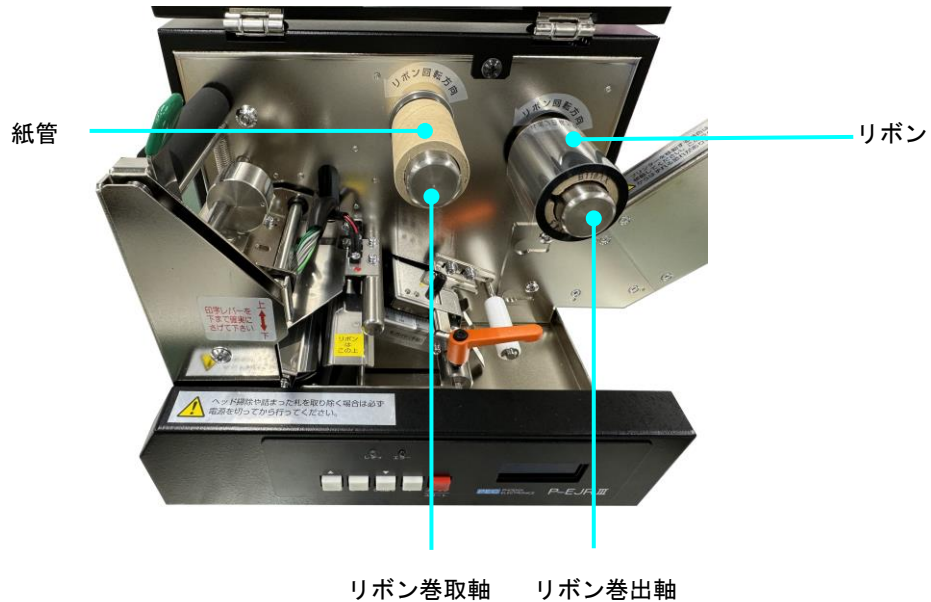
注意

ヒューズは必ず所定の定格(125V 4.0A)のものをお使いください。
定格以外のヒューズを使用すると事故の原因となる恐れがあります。

リボンの取付け

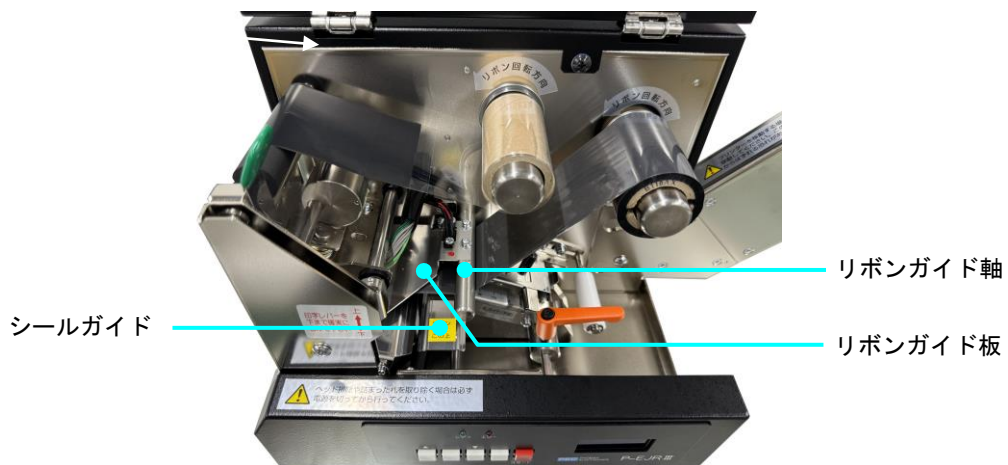
1

リボン巻取軸に紙管を、リボン巻出軸にリボンを奥まで差し込んでください。



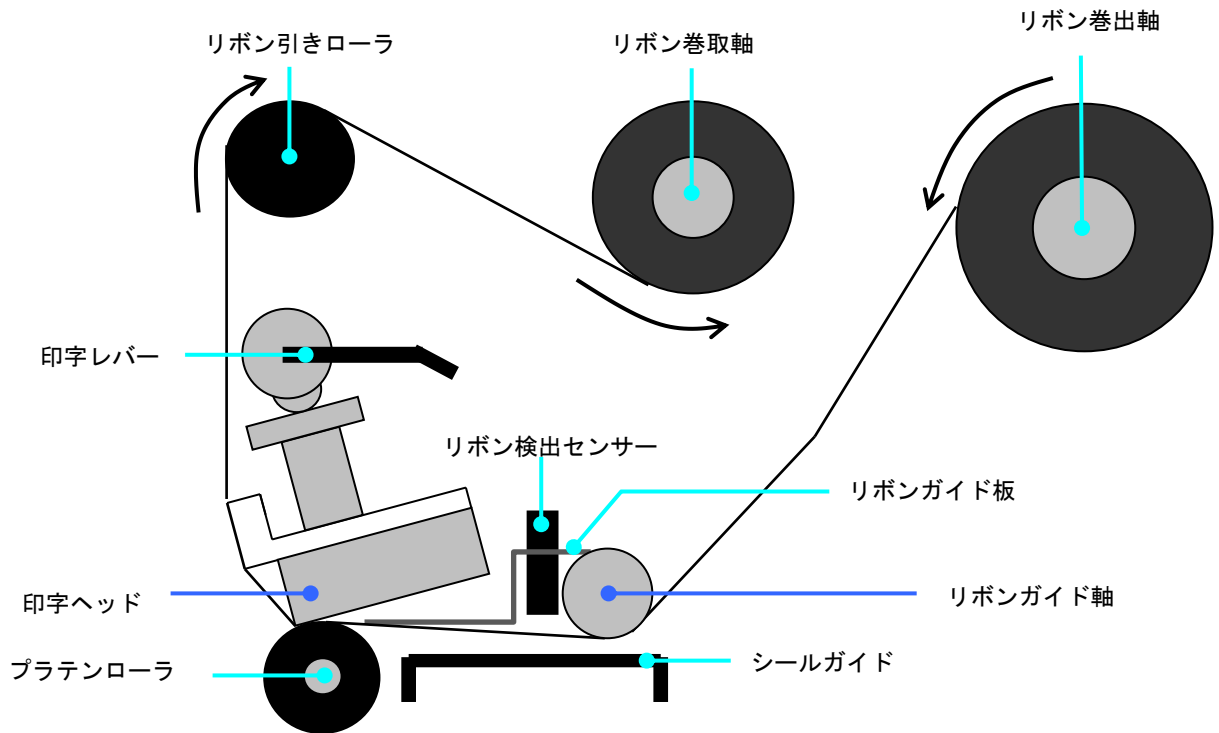
2

操作カバーを倒しリボンをリボンガイド軸及びリボンガイド板と「リボンはこの上に」のシールガイドの間に通してください。



3

リボン経路図を参照して、下図のようにリボンセットを完了してください。

**4**

リボン送りキーを押して、リボンのシワが無くなるまでリボンを巻き取ります。



リボン送りキー

お願い

□リボン検出センサーにリボンが確実に通るようにしてください。

□リボン経路は上図の通り正しくセットしてください。

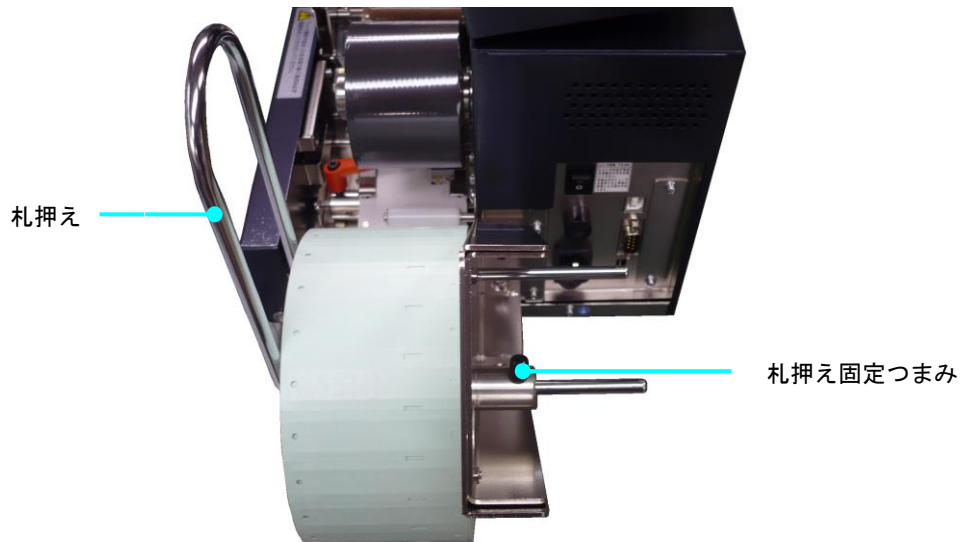
間違ったセットを行うと印字がでず、印字ヘッドの破壊の原因になります。

□リボン引きローラ、リボンガイドローラ、リボンガイド板、プラテンローラは無水エタノールで掃除してください。ローラが汚れると用紙送り、リボン送り不良が発生し印字品質が低下します。

用紙の取付け

1

アンワインダーの札押え固定つまみを緩め、アンワインダーの札押えを手前に引き、操作カバーを手前に倒してください。



2

アンワインダーに用紙をセットして札押えを用紙の幅に合せます。札押え固定つまみをしっかりと締めて、用紙を札ガイドローラーの下に通してください。

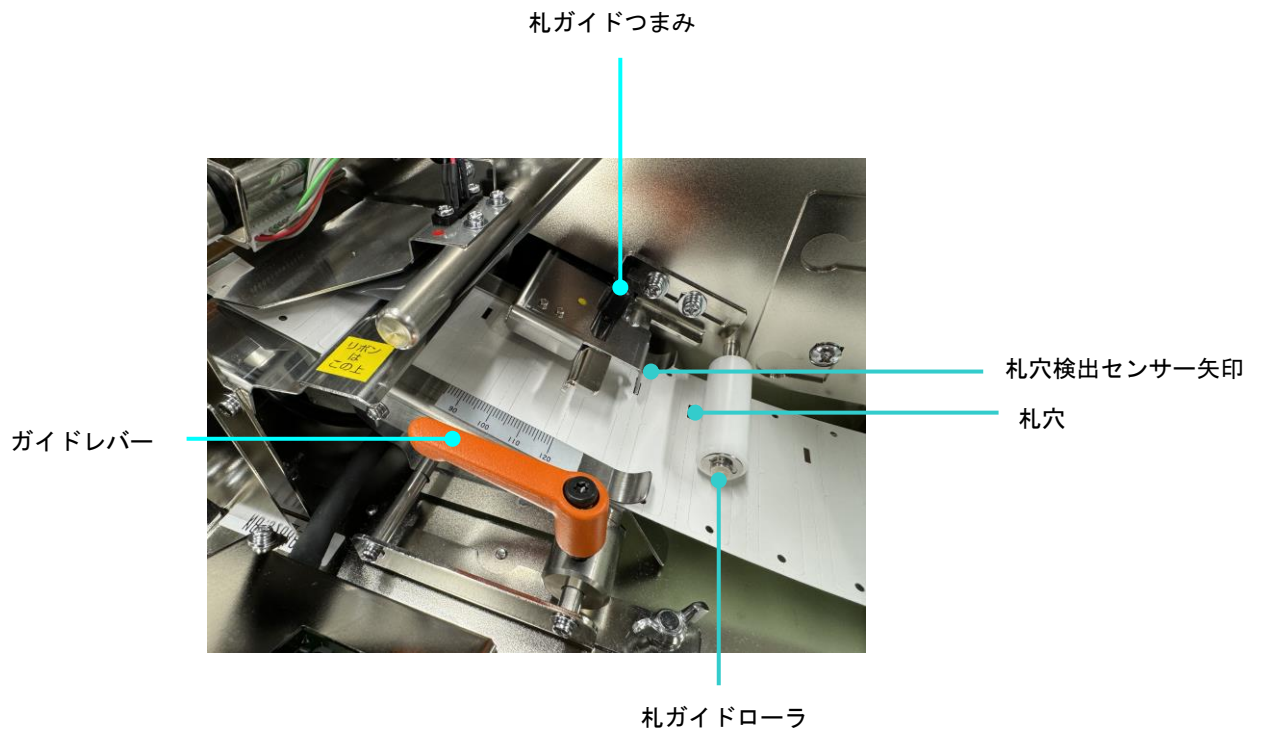


ポイント

用紙の向きに注意してください。逆さにセットすると印字ができませんので注意してください。

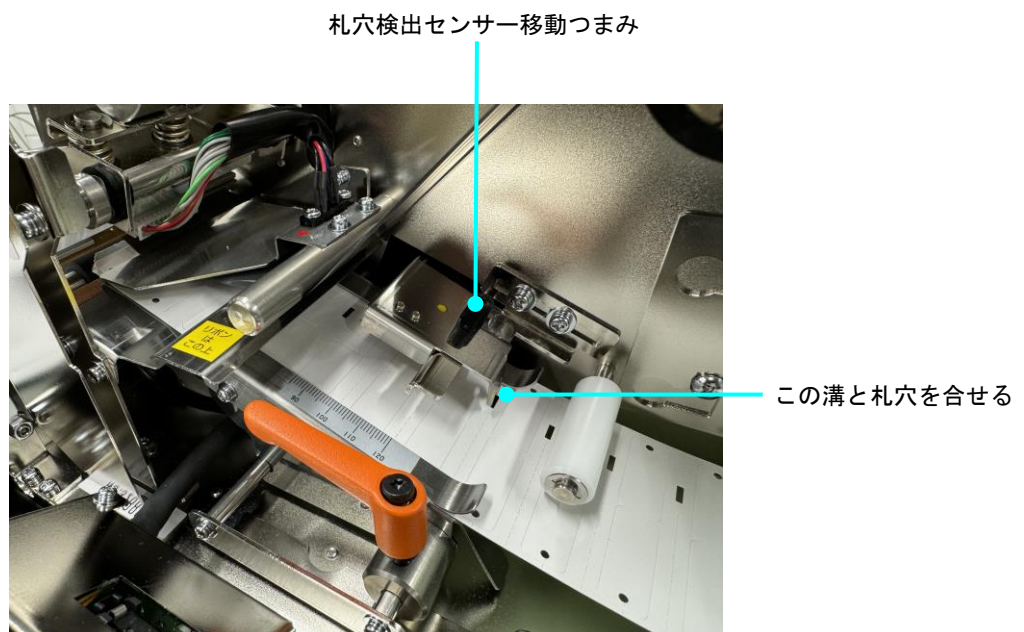
3

ガイドレバーを緩め、用紙の幅に合うように札ガイドを調整します。
ガイドレバーを締めて札ガイドを固定してから用紙を札ガイドに通します。



4

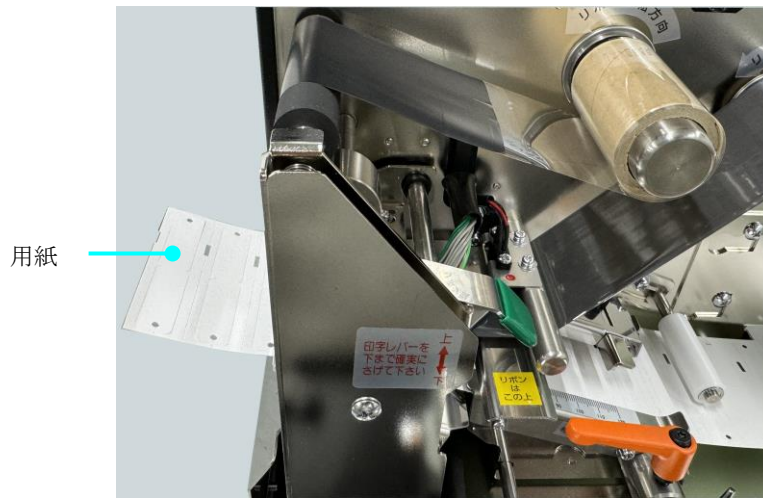
札穴検出センサーを札穴、又は隙間に合うように札穴検出センサー移動つまみを緩めて、センサーの溝の下に札穴が通るように調整を行い、札穴検出センサー移動つまみを締めてください。



5

印字レバーを下ろし、操作カバーを戻します。

札送りキーを押して印字ヘッドより用紙が前に出れば完了です。









お願い

札送りキーを押してから印字を行ってください。札送りキーを押さずに、印字を開始すると、最初の数枚分の印字位置が正しく印字されません。

エラー表示

エラーが発生しプリンターが停止したときは、下記エラーメッセージが表示されます。

エラー表示	内 容	処 置
 エラー	<ヘッド自己診断エラー> 印字ヘッドが故障しています	印字ヘッドの交換が必要です。
 エラー	<札詰まりエラー> 用紙が詰まっています 用紙が検出できません	用紙をセットし セット キーを押してから ストップ/スタート キーを押すと、印字が再スタートします。
 エラー	<札切れエラー> 用紙が無くなりました	用紙を取り外して、用紙を再セット後 セット キーを押してから ストップ/スタート キーを押すと再スタートします。
 アラーム	<リボン切れエラー> リボンが無くなりました	新しいリボンをセットし リボン送り キーを押してから ストップ/スタート キーを押すと、印字が再スタートします。
  LED エラー ランプ 点滅	<ヘッドアップエラー> 印字ヘッドが上がっています	印字ヘッドを下げて ストップ/スタート キーを押すと印字が再スタートします。

お願い

□上記の処置を行ってもエラーコードが表示された場合は、一度電源を切り再起動してください。

再度操作を行ってもエラーコードが表示される場合は、連絡先へお問合せください。

印字ヘッドの掃除について

印字品質を維持するために、使用される前に印字ヘッドを定期的にクリーニングしてください。

印字ヘッドの掃除手順

1 本機の電源を”OFF”にして、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

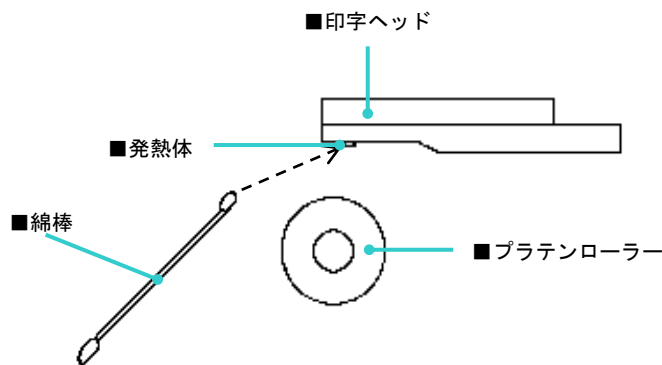
2 印字ヘッドとプラテンローラーの間に隙間を開けてください。

3 リボンを弛ませ印字ヘッドの発熱体が見えるようにしてください。

4 発熱体付近を無水エタノールに浸した綿棒で軽く拭いてください。
(強く拭くと印字ヘッドにキズが付き故障の原因となります)

5 用紙およびリボンを再セットします。

6 電源 ‘ON’ 後、印字確認を行ってください。



ポイント

- 必ず本機の電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 金属などの固いものは印字ヘッドを破壊しますので、絶対に使用しないでください。
- 掃除のときは、無水エタノール以外の薬品(シンナー等)を使用しないでください。

故障について

下記の処置をしても改善しないときは、必ず本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いて連絡先へお問合せください。

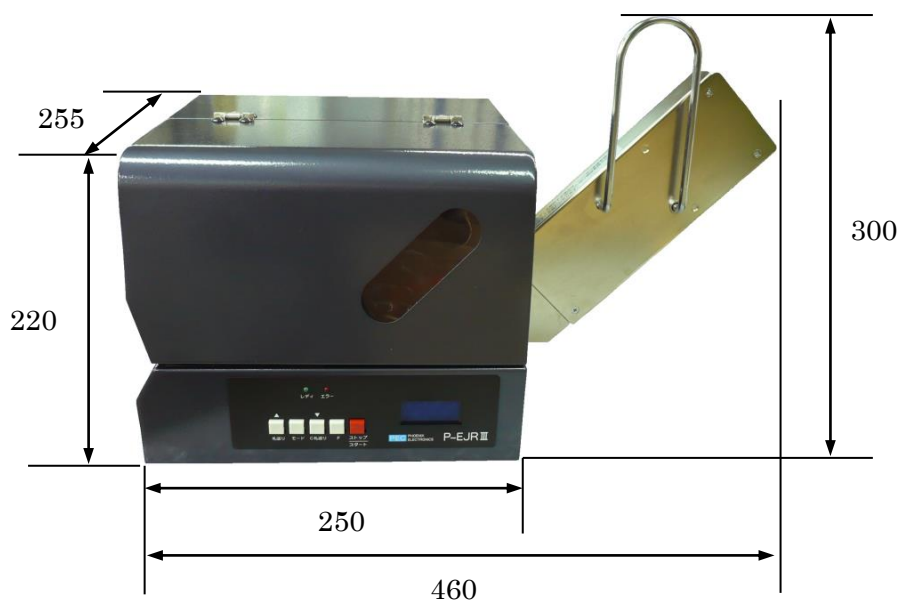
連絡先

症 状	確 認 事 項
電源を 'ON' にしても作動しない	<input type="checkbox"/> 電源の差込みプラグ (3P) がコンセントから外れていないか確認してください。 <input type="checkbox"/> コンセントに電源がきているか確認してください。 <input type="checkbox"/> ヒューズが切れていないか確認してください。(P. 9 通信パネル部参照)
用紙に印字されない	<input type="checkbox"/> エラーランプが点滅していないか確認してください。 <input type="checkbox"/> リボンが逆にセットされていないか確認してください。(P. 10 リボンの取付け参照) <input type="checkbox"/> 表示パネルにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。
印字がかすれる	<input type="checkbox"/> 印字ヘッドが汚れていませんか。 無水エタノールと綿棒で印字ヘッドを掃除してください。(P. 16 印字ヘッドの掃除について参照) <input type="checkbox"/> 印字ヘッドを掃除しても回復しないときは、連絡先へお問合せください。
印字に白いスジが入る	<input type="checkbox"/> 印字ヘッドが汚れていませんか。 無水エタノールと綿棒で印字ヘッドを掃除してください。(P. 16 印字ヘッドの掃除について参照) 掃除をしても回復しないときは、連絡先へお問合せください。 <input type="checkbox"/> 「ヘッドエラー」が表示されていませんか。 表示されている場合は、連絡先に印字ヘッドの交換を依頼してください。

基本仕様

モデル名	P-EJRⅢ80
印字方式	熱転写方式
印字解像度	11.8dot/mm(300dpi)
印字速度	MAX 100mm/秒
用紙サイズ	幅 25mm～ 70mm 長さ 10mm～200mm
サーマルリボン	当社指定リボン 幅40mm ～ 70mm内巻き
自己検出機能	印字ヘッド切れ検出, 用紙エンド検出, 用紙詰り検出, リボンエンド検出
通信ポート	RS-232C, USB2.0, LAN(オプション)
環境条件	使用環境 10～30℃/30～80%RH(結露なきこと) 保存環境 0～45℃/10～90%RH(結露なきこと)
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	約200VA
外形寸法	下図参照
重量	約9.4kg

外形寸法 (mm 単位)



□本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

